



FLY Letter

はじめての方向けガイド

FLY Letter の始め方

HTMLメール一括送信を、もっとシンプルに。

対象ユーザー・できること・最初の一步を、5分で。

1つのアプリで、案内メールの一括送信が完結します

HTMLメールのテンプレート作成から、宛先ごとのデータ管理、一括送信、送信結果の確認までを、パソコン1台で完結できるデスクトップアプリです。案内・請求・連絡など、定型的な個別メールを大量に送る仕事の負担を大きく減らします。

4つの工程で迷わない



テンプレート作成 → 宛先データ入力 → プレビュー確認 → 送信・ログの順に進むだけ。

Gmail・メールサーバーの両対応



普段使っているGmailアカウントや、会社のメールサーバーからそのまま送信できます。

データは自分のパソコンだけに



顧客リストなどのデータは外部に預けず、すべてローカルで管理します。

こんな悩み、ありませんか

案内メールの一括送信、こんな課題はありませんか？

宛名の差し替えが大変で、ミスも心配



メーラーで1通ずつ宛名や会社名を書き換えて送っており、作業負荷が大きく間違いも起きやすい。

HTML作成ツールと一括送信ツールが別々



見た目を作るツールと、実際に送るツールを行き来する必要があるため、二度手間になっている。

クラウド配信サービスは導入のハードルが高い



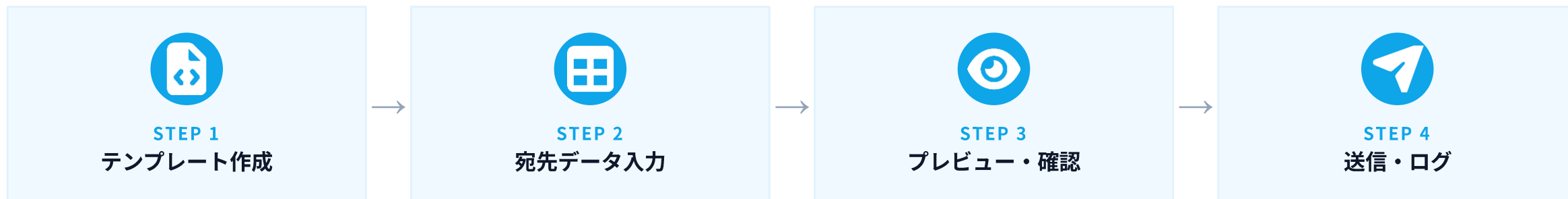
月額課金・顧客リストの外部預託・独自の管理画面を覚える学習コストがネックになっている。

送信結果があとから分かりにくい



誰に送れて、誰が失敗したのかを確認・報告する手段が整っていない。

この4つの工程だけで完結します



「工程が分かる・戻っても壊れない」ように設計されています

- 画面左の工程ナビで、今どこにいるかが常に分かります
- 工程を行き来しても、入力済みのデータは失われません
- 送信前には宛先ごとの内容を確認でき、誤送信を防げます

こんな方におすすめです

対象ユーザー



中小企業の営業・人事担当者

案内状・お知らせなどの一斉送信業務を担当する方。



士業（弁護士・税理士・行政書士など）

顧客への案内・連絡を個別の文面で送りたい方。



教育機関・スクール運営者

保護者・生徒への連絡を定型かつ個別に送りたい方。



マーケティング担当者

見込み顧客への案内メールを組み立てて送りたい方。



Sierの顧客向けソリューション

顧客企業に一括送信の仕組みを提供したい方。

共通するユーザー像

- 「Excelは使えるけれど、HTMLやプログラミングには詳しくない」という方を前提に設計されています。

既存の方法との違い

観点	手作業での送信	クラウド配信サービス	FLY Letter
データの保存場所	自分のパソコン	外部サービスのサーバー	自分のパソコンのみ（ローカル完結）
HTMLメールの編集	困難（メーラー依存）	できる	できる（コード編集+リアルタイムプレビュー）
宛先ごとの差し込み	手作業でのコピー＆ペースト	できる	できる（差し込み変数で自動反映）
送信前の個別確認	難しい	サービスによる	宛先ごとのプレビュー+テスト送信で確認できる
送信結果の記録	残らないことが多い	できる	できる（送信ログ+CSV出力）
費用の仕組み	追加費用なし	月額課金があることが多い	アプリ自体に課金の仕組みなし（スタンドアロン）

書きながら、右側でそのまま仕上がりを確認できます



インストール方法

1

お使いのパソコンに合ったインストーラーを入手する

配布されているインストーラー（Windows / macOS / Linux）を、社内の配布場所またはダウンロードページから入手します。

2

インストーラーを実行する

画面の案内に沿って進めるだけでインストールできます。Windowsでは未署名のため SmartScreen の警告が出ることがありますが、配布元が分かっている場合はそのまま進めて問題ありません。

3

FLY Letterを起動する

起動すると、工程ナビ付きの画面が表示され、すぐに「テンプレート作成」から使い始められます。

OS	配布形式	備考
Windows	インストーラー（.exe）／ポータブルZIP	コード署名なし。SmartScreenの警告が出る場合があります
macOS	.dmg（Intel／Apple Silicon 共用）	そのままドラッグ＆ドロップで導入できます
Linux	.ApplImage／.deb／.rpm	ディストリビューションに合わせて選択します

最初の4ステップ



① 件名と本文を書く

件名と本文を入力し、「\${name}」のような差し込み変数を挿入します。右側でリアルタイムに仕上がりを確認できます。



② 宛先データを入力する

Excelのような表にメールアドレスと差し込みたい情報を入力・貼り付けします。



③ 宛先ごとに内容を確認する

1件ずつ差し込み後の文面を確認し、送りたい宛先は「除外」できます。



④ テスト送信してから、一括送信する

まず自分宛てに1通送って仕上がりを確認し、問題なければ全員へ送信します。

送信設定はGmail・メールサーバーのどちらかでOK

Gmailで送る場合

- 「Google認証を開始」からブラウザでログインするだけ
- パスワードの入力は不要（Google認証）
- 普段のGmailアドレスをそのまま送信元にできる

会社のメールサーバーで送る場合

- サーバー・ポート・ユーザー名などを入力するだけ
- 接続できない場合はアプリが原因を自動で診断
- 設定は暗号化して自分のパソコンに保存される

両方を設定しておき、送信のたびにどちらを使うか選ぶこともできます。詳しい設定手順は『FLY Letter ユーザーマニュアル』の「メール設定」をご覧ください。

データは、あなたのパソコンだけに残ります



完全スタンドアロン

顧客リストやテンプレートはすべてローカルに保存され、外部のサーバーに送られることはありません。



外部通信はメール送信時とGoogle認証時のみ

アカウント登録や会員管理は行わず、必要な時だけ最小限の通信を行います。



認証情報は暗号化して保存

メールサーバーのパスワードやGmailのトークンは暗号化し、パソコンのキーストアで安全に管理します。

士業・教育機関など、顧客情報を扱う方に

- 顧客リストの管理責任上「外部に預けたくない」というニーズに、ローカル完結の設計で応えます。

もっと詳しく知るには

すべての機能の詳しい使い方は『FLY Letter ユーザーマニュアル』にまとめています。



テンプレート作成の詳細

差し込み変数の管理、表示モードなど



宛先データ入力の詳細

検索・重複チェック・CSV出力など



メール設定の詳細

Gmail認証・SMTP診断・証明書の承認など



送信・ログの詳細

テスト送信・再送・ログ管理など



プロジェクト管理の詳細

保存・読み込み・キーボードショートカット



セキュリティの詳細

暗号化・保存先・各種安全対策



さあ、はじめましょう

テンプレート作成から、4つの工程を順番に進めるだけです。

詳しい機能は『FLY Letter ユーザーマニュアル』をご覧ください。